6月29日 水曜日 28日発行
昭和30年西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3141号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認新聞第232号)
(中華郵政台字第637號執照登記為第2類新聞紙類・内政内警証報偏内台警字第0136号)

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646
(直通)販売〃0437 広告〃3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話 代表 芝(43)1163
振替 貯金口座 東京170071

天気予報
今晩 北東の風曇一時小雨、北部晴間が多い
明日 北の風日中南東の風曇一時晴、夕刻俄雨もし易い
【全国概況】津軽海峡の低気圧から南西に伸びる前線が朝鮮南部に達しており、一方関東南部にも他の前線が停滞しているため、日本本邦は晴間が多いが、ところどころ小雨が降っている

あすの暦 6月29日・水
旧 5月10日
月齢 9.0
日出 前 4.27
日入 後 7.01
月出 後 1.53
月入 —
満潮 後 1.20
干潮 前 7.05 後 6.15
(長潮)

4版

注目の米価審議会再開
まず30年産麦価を諮問

議事運営で混乱
農相の中座がきっかけ

[illegible]

卅年度麦価政府案

[illegible]

日農一万二千四百円米価を要求

[illegible]

四者会談は午後三時に

[illegible] 局内の意見を調整することとなったものである

[illegible] 岸幹事長は二十八日午前十一時二十分自由党の石井幹事長を訪ね、同日正午から予定された四者会談の延期を申入れにたいし石井幹事長かれた会談であるから議題も四者会談は開きたいとで、結局同日午後三時か

今夕全閣僚が懇談
保守結集で意見調整へ

保守合同問題で対立する [illegible] 終了後、鳩山首相を除 [illegible] 閣議ではまず鳩山首相から [illegible] 前私邸で保守合同賛成、反 [illegible] と会見した模様を説明「自 [illegible] ては合同に踏切るべきかど [illegible] え方がまとまらない、この [illegible] 閣僚の意見を聴きたい」と [illegible]

民主党総務会 正面右端が三木総務会長、右へ岸幹事長、広川弘禅氏

党の態度を決定できない情勢にあるため、保守合同問題を取上げて協議することはなく、民主党側が二十七日夜からの党内調整の経過と民主党の態度決定になお時日を要する旨を説明、了承を求める程度で終るようである

結論えられず
民主党総務会 賛否両論が対立

民主党は二十八日午前十時半院内で総務会を開き「保守合同を目途として自由党との政策協定に入る」ことを正式議題として保守合同問題の可否について討議した、同日の総務会は前日と同様に合同賛成派の保守合同論と旧改進系などの反対論が烈しく対立し賛否の意見が活発に述べられた
また一部総務の間にはこの際、賛否の論議は尽したから、この問題は鳩山総裁の裁断に待つことを総務会で決めてはどうかとの発言もあったが、結局なお党内の意見調整の余地があるとして同日の総務会は賛否の意見対立のまま結論を得られなかったようである

会期、二週間延長に一致

政府は二十八日の閣議で国会の会期延長について協議した結果、二週間程度とすることにほぼ意見の一致をみた

短期間、一回だけ
左社の態度きまる

左派社会党は二十八日午前の国対委で「会期延長については原則として反対するが、やむを得ない事情のある場合は短い期間一回に限って延長を了承することもあり得る」との態度をきめた

きょう日ソ第六回会談

【ロンドン二十七日発ロイター=共同】日ソ交渉第六回会談は二十八日午後三時(日本時間午後十一時)からロンドンの日本大使公邸で開かれる

東北水害地へ調査団の派遣

二十八日午前の衆院農林水産委員会で衆院農林委決議 秋田、山形、宮城、岩手四県の豪雨被害調査のため議員派遣を決議した

ジグザグコース
バターか大砲か

河野農相の不信任動議が飛出す一幕も交えて、荒れに荒れた三十年産米価決定はようやく石当り一万六十円でケリがついた。一万六十円は予算上の米価九千七百三十九円にくらべると石当り三百二十一円引上げられたことになり、新しく七十三億円の財源が必要だ。二十九年産米の減収加算石当り百四十円、総額にして約三十三億円も今年の予算から支払うので、合計百六億円の財源を何とかしなければならない。この財源がない、一兆円予算のワクが崩れるといって一万田蔵相はゼッタイ反対だったが「十対二」の劣勢でいかんともしがたく折れた。一方一万百十円を主張して敗れた河野農相はプンプン役人にこの政治的折衝に将来にしこりを残 [illegible] お米の問題は農 [illegible] 財政の大問題であ [illegible] 消費者には安く、たくさん…というのが「よい政治」だが一兆円のワクの中ではこの全然ちがった要求を満たすのは誰がやってもむずかしい。しかしそれは一兆円というワクを初めにつくってしまい、食管会計という限られた中で物を考えることからきている。ある農政評論家は「世間からとやかくいわれた防衛庁費などを先にふやしてしまって、その財政のシワを全部米価によせて問題をつつきまわし

[illegible] しかねない。一万田蔵相はともかくこの米価で予約買付制を一年間やって、その成績をみたうえで食糧政策を根本的に再検討し、あわよくば自由販売へもっていき、財政負担をなくそうというハラらしい。しかし防衛分担金、一兆円予算のワクがある以上、米価問題はつまるところ"バターか大砲か"の問題になるのではなかろうか。(Q)

【写真は一万田蔵相】

水入らず

中川三郎氏一家
写真(後列)左から一郎君、マリ夫人、三郎氏(前列)弘子さん、元子ちゃん、姿子ちゃん

見事な家族ショウ
タップのリズムに合せて

[illegible] ○…タップで知られる中川三郎氏の一家に [illegible] ファミリー・ショウであ [illegible] くり耕上 [illegible] プ・ダンサー第一人者、マリ夫人はSKD出身の名ダンサー、長女弘子さん(二〇)はピアノ、長男一郎君(一八)はドラム、次女の姿子ちゃんはアコーデオン、末娘の元子ちゃんは木琴 [illegible] 教えたので [illegible] 憲兵隊に呼び出されて「タップのリズムを利用してモールス信号をしてるんだろう」とツルシあげを食った、郷里の鳥取県に、小学校に入ったばかりの弘子ちゃんと一郎ちゃんを連れて疎開したが、万一を予想して"自分の生命だったタップを子供に伝えよう"とマリ夫人と相談、弘子ちゃんに仕込んだのが始まりだった「体力的に無理だと思っても心を鬼にして教えましたよ、そんな時は女房の方で子供に同情したらいけません」とさんざん圧迫されたあげくね」
○…蛙の子はしょせん蛙の子である、弟妹たちも次ぎ〳〵にタップを仕込まれたが「弘子の時のような仕込み方はしませんでした、あの時は自分の生命を移し植える気持だった」そうだ、戦後GHQにはかつて中川氏が留学したCCNYの後輩が相当おり、彼らの斡旋で進駐軍慰問をすることになったが、やがて末娘の元子ちゃんも加えてアメリカによくあるファミリー・ショウと銘うって兵隊仲間では凄い人気があった、長女弘子さんは今年三月六東学院を卒業と同時に松竹映画の専属になり、ステージから映画に転換していったが「ママ横を向いてて」でデビュー、以来ニューフェイスとして将来を期待されている
○…しかし長男の一郎君は将来シヨウマンとしてより、父親の役をついで中川タップ・スタジオを経営させたい意向で、姿子さんにはジャズを勉強させている、「末ッ子の元子はまだ海のものとも山のものとも判りませんねェ…」といいながら、子供達が揃ってそれぞれ芸能家に成長していっている姿に満更でもない表情である
○…中川氏は目蒲線大岡山のキレイな練習所に隣接して"コーパ劇場"を経営しているが、これは将来子供達がいつでも、自由に自分の芸を発表することができるようにとの親心からである、現在練習所には八百人の生徒が入り替り立ち替り、タッタッカ〳〵とリズミカルな靴音をさせて練習しているし、ガレージには高級車が二台もデンと鎮座しているという豪勢さだ、全く"ショウほど儲かる商売はない"(藤)

粋人酔筆
詩人の碑

近頃、詩人の碑を建てることが流行のようになっている。昭和二十七年十一月に、「枯すゝき」や「波浮の港」を作った民謡詩人野口雨情の詩碑が、井の頭公園に建ったが、本年四月、その郷里である茨城県磯原の海岸にも、雨情顕彰碑が建てられた。
昨年の夏頃、生きている詩人西条八十と、死んだ作曲家中山晋平の「柳の碑」が、銀座の一角に建った。この柳の碑のことは、私が四、五年前から主張していたことで、当時は中山さんも健在だった。私は、詩人仲間が中心となって、レコード会社、映画会社、出版社及び銀座の人達に呼びかけて、これを建てたいと考えたのであったが、それが話ばかりで具体化されないうちに、中山さんが死んでしまい、柳の碑は、中山晋平記念会と銀座の有志によって出来上った。
中山さんの死んだのは二十七年十二月三十日だったがその一ヵ月前に建立した井の頭公園の雨情詩碑に、代表者となって働いたのが中山さんだった。雨情詩碑の建つ少し前、十月の末頃に、私は中山さんと仙台まで旅行したことがあった。日本民謡協会全国年次大会に審査員として出席のためで、町田嘉章さんも一緒だったが、その途中、列車の中で雨情詩碑建立の話から中山さんが、
「私が死んだら何処に碑を建てて貰おうかな」と笑いながら、ちょっと考えて、
「やはり信州の郷里に建てゝ貰うのが一番うれしいですね」といった。
むろん、話のついでに、なんの気もなくいわれたのであろうが、それから僅か二ヵ月程で永眠されたことを思うと、何かしら暗示的なものがあったのではないかと、そんな気がしてならない。
いま計画中のもので は添田唖蝉坊と佐藤惣之助の詩碑がある。添田唖蝉坊の名は、今では知らない人が多かろうが、民権運動の一翼を担った読売壮士として出発し、明治、大正の演歌界に最も広く活躍し、最も多くの作詞を試みた人で、その代表作には、四季の歌、ラッパぶし、むらさき節などがある。本欄定連の一人である杉原残華君や、藤沢市長になった戸川貞雄氏らが、建碑計画の中心に立っている。
佐藤惣之助は「詩之家」を主宰し、「華やかな散歩」「季節の馬車」その他沢山の詩集を著わし、詩壇に有名な存在だったから、ここで詳しく紹介する必要はないであろうが、建碑は流行歌作りの仲間だった藤田まさと君や私、それに映画関係の池田義信氏らが中心になって話をすゝめている。碑面にも純粋詩を選ばず、流行歌でヒットした「赤城の子守唄」を刻もうということになっている。
佐藤惣之助については、愉快な話が沢山ある。或る時彼は、満州がえりの知人に吉林省の蟇の油というのを貰い、精力補強に最良の妙薬だというので、早速用いたが、その後にその効果を問うと、
「君、あれは全く大したもんだよ、僕が一週間ほど続けて用いたら、女房がいわく、あなた、あれを召上るの、しばらく休んで下さいませんか、だってさ」
と、真剣な顔で答えたので、みんなダアッとなったものである。
また、十二月頃の或る寒い日だった。銀座裏の或るカフェーで、女給が特別サービスをしてくれるというのを聞いて、喜んで出かけて行ったが、翌日逢うとゴホン〳〵咳ばかりしている。どうしたのかと訊くと、そのカフェーへ入るとすぐ、トイレへ行って股引を脱ぎ、いつでも応戦できるように構えてかかったのに、女給達は一向に相手になってくれず、とうとう風邪をひいてしまったよと苦笑していた。
【写真は故中山晋平氏】

高橋掬太郎

市況 小甘い成行き

ダウ平均三百五十円回復のあと大証券が再び消極的態度にかえったので、全般は見送り人気のうちに小口の戻り売に押されて小甘い成行に推移した、特定株は日清紡が雑の紡績株堅調につれて小確りのほかはほとんどマバラ売に一、二円安と弱含み商状雑株は海運株の一服をはじめ概して伸び悩みから一、三円方引緩むもの多く、特に白木屋、常磐炭、三井不、三菱地所など品薄株が十円内外から三十円方下押し、僅かに紡績株に大証券の押目買が見られて二、四円方小高いのが目立つ程度
▽安い株=常磐炭二十円、白木屋十円、三井不六円、菱地所四円
▽高い株=倉敷紡四円

東京株式仲値
「新株落△配当落
(28日前場終値)

特定銘柄							
東海上	247	東高圧	120	旭化成	335	カボン	50
郵船	58	昭電工	79	山陽パ	98	三井物	137
新三菱	84	日本曹	75	日本パ	94	第一物	97
日清紡	265	旭電化	71	国策パ	101	白木屋	265
味の素	272	三菱造	79	東北パ	115	高島屋	81
三越	266	三井造	114	大東紡	94	日活	69
平和不	175	三菱重	60	商船	44	松竹	197
三井金	109	石川重	90	三井船	48	東宝	—
三菱金	83	精工	129	飯野海	44	大映	178
日鉱	81	東洋ベ	109	西武	350	日本粉	127
住友金	86	日立造	47	藤田興	216	日清粉	155
三菱鉱	38	浦賀	49	東京ガ	66	日本ビ	138
古河鉱	60	日平	22	東電	445	朝日ビ	165
同和鉱	111	古河電	68	日銀	—	キリン	187
住友炭	53	日立製	67	東銀	72	宝酒造	90
三井山	51	東芝	65	三井銀	—	合糖	216
北海炭	48	三菱電	80	富士銀	89	明糖	113
東邦亜	64	小松	51	日証金	84	甜菜糖	125
帝石	68	日本光	134	安田火	106	野田醤	187
日石	96	キヤノ	140	大正海	86	森永	280
昭和石	98	東京光	—	住友海	76	明菓	173
東燃	111	東洋紡	136	千代田	—	日水産	80
三菱石	115	鐘紡	112	鋼管	68	昭和産	89
大協石	113	富士紡	107	日製鋼	62	東洋醸	72
日東化	72	大日紡	80	八幡鉄	50	合同酒	108
日産化	75	日東紡	59	富士鉄	47	三楽	89
三菱化	102	片倉	31	神戸鋼	52	大阪糖	140
三井化	112	東邦レ	97	日特鋼	116	王子紙	212
協和醗	111	帝麻	55	日軽金	173	十条紙	224
東合成	114	中繊	51	日金工	58	本州紙	87
三共薬	145	帝人	129	日セメ	130	三菱紙	86
信越化	80	東洋レ	175	磐城セ	238	北越紙	53
		三菱レ	119	小野田	80	三井不	780
		倉レ	87	横浜ゴ	163	三菱地	465
				旭硝子	141	三井倉	73
				富士写	124	渋沢倉	—
				小西六	112	東洋埠	—

内外抄

合同よりも分裂の方が問題となってきた民主党、当分は涼しい顔で見物ができるぞ自由党。
◇
恒例の会期延長、今期は十五日間とする政府の肚、日当を稼ぐ国会とは申したくないけれど。
◇
教科書問題の証言はシドロモドロ、いゝ抜けができても教育のお手本にはならぬことばかり。
◇
北鮮の「地下代表部」はわが業者と「漁業協約」を結んでいた。潜りには気をつけなくちゃ。
◇
「売春婦放送」の問題でNHKは謝罪要求を謝絶。「法王は頭を下げるものではないぞ」

ないがい川柳 吉田柿司選

ワンピース浮き彫りにする憎い風 船橋 稲村三久
ひやかしただけで事なく旅を終え 松本 竹内長夢
お隣りの親爺の仇名金語楼 市川 板橋英夫
まだ嫁かぬつもりミシンを強く踏み 文京 木村いつ秋
植木屋の音しみじみと茶をすゝり 新宿 琴之助
光らない尻を追ってる蛍狩り 葛飾 枯すすき
靴磨き家では女房に磨かせる 川崎 小宮せいじ
しじみ屋へ朝を寝巻の絣をこぼし 中野 高野芸太郎

青春無宿 (50)
大林清 作
下高原健二 画

昼の狼(四)

次郎が後へ備えるのも忘れて、眼をみはったのは、前をふさいだサンドイッチマンが東藤だけでなく、思いおもいの衣裳を身につけ顔に白粉を塗った連中までまじって、その数凡そ十五、六人、殺気立って押しよせているのだ。
「宇田さん、喧嘩なら僕らにまかせて下さい、義勇会の愚連隊にはみんな恨みがあるんだ」
そう云ったかと思うと、東藤は次郎を押しのけて、
「この野郎! ぶち殺してやるぞ!」
ひどく威勢のいい声を張りあげながら、プラカードを武器に路地へ飛びこんで行った。
「おいッ、待て! 乱暴するのはやめろ!」
あわを食ったのは次郎だった。東藤につづいて、雪崩れ込むサンドイッチマンたちを押しとめようとしたが、十数人に殺到されては、いくら次郎でも施す術がなかった。
だが、それより先に、愚連隊たちは、押しよせるサンドイッチマンの勢いに恐れをなして、路地づたいに、逃げ去ってしまったらしい。
アパートの入口までもどった次郎は、眼を血走らせ、息をはずませている東藤とパッタリむかいあった。
「奴ら逃げちまいましたよ、今日こそ、半殺しの目に会わせてやろうと思ったのに」
東藤はいかにも無念そうに云う。
「どうしたんだ君たち?」
「よせよ、昼間っからみっともないじゃないか」
「あれ、だって宇田さん、僕らより前にあいつらと喧嘩して、飛び出して来たのはあなたなんですぜ」
「いや、僕は逃げたんだ」
「嘘云ってらァ、宇田さんが逃げるなんてことがあるもんですか」
「そうでもないさ。だが逃げるようになりゃァ、僕ももう少し出世するかな」
次郎は自分で自分に苦笑して、はだしになっている足もとを、やり切れない気持で見た。
愚連隊を追って行ったサンドイッチマンたちは、喧嘩の相手をみつけることが出来なかったらしく、手持無沙汰な顔で、表や裏からもどって来た。この連中は、かつて次郎がサンドイッチマン同士の喧嘩を仲裁したことを、東藤同様恩にきているのだった。それでなければ、仲間の一人や二人が、愚連隊に殴られたからといって、大挙して押しよせては来なかっただろう。
「だけど宇田さん、あいつら執念深いから用心して下さいよ。今日みたいにうまくみんないる時だったら、僕らはいつでも加勢に飛んで来ますがね」
東藤はそれでも愚連隊を追っ払ったことに気をよくしている様子で云い、ふと思い出したように付け加えた。
「そうそう、いつか青い星から出て来た若い方の女の人、今そこで見かけましたよ」
次郎は毒気を抜かれた形だった。
「いえね、そこんとこでおたくのアパートにいる真弓さんに会ったんですよ、そうしたら宇田さんが、愚連隊と喧嘩になりそうだって云うんでしょ。あの義勇会の奴らにゃァ、つい二、三日前も、うちの宣伝社の仲間がたかられて、こっぴどく殴られたんですよ」
東藤は仲裁に来たのではなくて、喧嘩を買いに来たのだった。それだけ云うと、いくらか気が落着いたらしく、
「ちょうど仲間があつまって、これから働きに出ようとしていたところなんで、よしやっちまえってことになったんです」

夏の味

枝豆

[illegible]

都内アベック名所一覧表

「松を枕に草の衾」などと唄の文句にまでうたわれた皇居前広場、日比谷公園、神宮外苑など恋の名所が今年もまた賑う時季になったが「またアソコ、変ったところへ行きましょうよ」というわけで、恋にマンネリズムはご法度と、近ごろ恋の名所は徐々に他へ移りつつある、アベック向きの深夜喫茶やジャズ喫茶などの出現で、この方に流れる組もあるが、やはり夏は涼しくて、ロマンチックな青空の下がいいと見え、蜜に集る蟻の如く、同じ心の若人たちはそれぞれ格好の新天地をみつけて、そこに集るから妙、以下は都内のアベック新名所一覧表である

多摩川べり

東横線多摩川園前駅、目蒲線沼部駅から数分"川のせせらぎ芝生の衾"というのだからアベックの集るのも当然、蒲田付近の工場街からは勿論、近ごろは渋谷、新宿辺から雑踏をさけたオフィス族も押し寄せてくる、ボートは七時、茶店も六時には店じまいするが、空家になった茶店が特等席でいち早く占領される、河原の芝生は隙間もないほどの盛況、茶店の主人(五二)は「一晩中店の中でゴソゴソやられるので眠れない」とコボしている、愛情の交換に夜を明かして、始発電車の通るまで四、五十組は残るという(ボート屋の話)

ただし土地の不良、痴漢がよく現れ六月初旬五人組に暴行され、川に飛び込んで自殺した娘さんもいる、ことに品鶴線から川下は不良の巣で、脅かされた上、金どころか女まで奪われたという話も数多い、東調布署では特に二名一組のパトロールを繰出しているが「不良共はゲリラ戦術で出没するのでなかなか捕らない」といっている

「随分陽が長いわネ」…日暮れ待ち遠しや多摩川べりで

六郷土手

は蒲田、川崎辺の [illegible]

真昼間から木陰を行く…飛鳥山にて

亀甲山

[illegible]

久ヶ原出世観音

[illegible]

靖国神社

[illegible] 通って千鳥ヶ淵ボート場にでるコースはアベックの夜の銀座通りとして有名だが、銀座通りに [illegible] "通"の連中は最近靖国神社 [illegible]

恋にマンネリズム禁物

とんだ深夜の参詣者で賑う観音

新しい場所は気分一新

[illegible] 店がガラ空きなので、お詣り [illegible] 用されている、「未来を祝福 [illegible] るように」「出来た子供は出 [illegible] るわね」てな調子で、とんだ [illegible] の参詣者で賑わっている

高輪界隈

[illegible]

有栖川公園

[illegible]

谷中墓地

[illegible]

六義園

[illegible]

土堤は花ざかり

夢中で川に落ちた数組

飛鳥山

[illegible] アベックのメッカと化す、遅く行ったのでは場所もないほどで、夢中になって川に落ちた男女も二、三度あったという(付近料亭の姐さんの話)都心のサラリーマン、オフィスガールが大半である

大宮公園

[illegible] 地帯で夜九時から

噂も七十五日の人

②月鏡子

○…国際劇場の四階楽屋には始まったばかりの「夏の踊り」のケイコで若い踊り子たちが渦を巻くように押し合いへし合い…この中からシンデレラ姫と騒がれた月鏡子を探すのは一苦労である

「わたし月ですけど…」と、突然眼の前に彼女が姿をみせた、この女性が昨年十二月タイ国で王室のテテパン殿下に見染められた人としてみると、同じ踊りの衣裳を着ていてもどこか違って感ぜられるのは気のせいばかりではないようだ

○…彼女はテテパン殿下とのことには口を閉じて語らないが先にタイ国外相が来日したとき、「パーティに招待されたわ」とにこやかに語るところをみると彼女の気持は変るところなく南の国に飛んでいるのだろう、それを裏づけるように、テテパン殿下という言葉を口にするとき左頬に笑クボを作ってうつむいてしまう

○…殿下が廿歳、彼女が十九歳とあってみれば、終着駅につくまでにはまだ二、三年の期間はあるのだろう、だから「現在は舞台を一生懸命に勤めることだと思っています、舞台はもちろん好きですし、最近ではファンの方も増え、応援して下さるんですもの、責任を感じています」そうである

昼寝の夢に南の国

独りそっと胸に抱く希望

○…彼女は"夏のおどり"にローラースケートをやるが、これが全然駄目ときている、それは運動神経がニブイためではなく、固い床板がこわいためである、それでもお尻を赤くして稽古した甲斐があり、近ごろどうやら滑べれるようになった、これで一安心のシンデレラ姫、現在の望みは「ご飯に卵をかけてお腹一杯食べたい、卵だけでもいい」そうである、腹一杯食べて昼寝の夢に南の国を見るとは彼女ひとり抱く希望であるとみてよいかもしれない(宮)

ネオン街

ご立派な商キャバレー

銀座八丁目のキャバレー"G"は五年前資本金たった二百万円で出発したのに銀座六丁目の"G"新宿の"G"と事業拡張したのはツッパ、これマスターのウデに加え相棒役の渡辺総務の陰の力があずかっているらしい、しかし一流キャバレーとなるためには設備はいいが、バンドと女の服装にいま一息の工夫がほしい、また西銀座八丁目のキャバレー"S"の経営方針も二千円均一なる商策が当って大森に割烹店、鎌倉に社長用別荘兼旅館まである、社長氏はその道にかけては猛者の評があり、一日おきに新入生の女を連れて術を教えに鎌倉へでかけるとの噂があるほどで、これが本当ならますますもって大したものである(S)

俳優グループ活動に一石

ついに解散するか

財政的行づまりと内部の勢力争いで

クレインズ・クラブ

鶴田浩二主宰

俳優グループとしては先輩格にある鶴田浩二主宰の「クレインズ・クラブ」が近く解散する模様である、この裏面にはクラブ員の勢力争いや、破産宣告を受けたという噂まであって、このところ久しく泰平をつゞけた俳優のグループ活動のあり方についても、一つの波紋を投げかけているようだ

鶴田の「クレインズ・クラブ」が発足したのは昨年七月で、彼の個人的なマネジャー格であった竹中香氏が代表者となり友人桜沢一氏ほか七、八名が鶴田を中心に集まった、十一月には早くも「結婚記」などの自主映画製作にも乗り出し、他の俳優グループと比べるといかにも若い人の集りらしい精力的な活動で映画界でも注目の的となっていた

ところがこのクラブは他の俳優グループと違いスターは鶴田たゞ一人であり、その他は全部マネジャー格か彼の付人といった組織なところから勢い収入源は鶴田のギャラに頼るという有様だった、従って事務所は銀座二丁目中華第一楼に置いてはいるものゝ、その経費だけでも一ヵ月二、三十万円はかかり、更に鶴田個人の野球チームまで扶養していたところから内情は火の車だといわれていた、こんどの解散の理由についても一つにはこうした負担が重なったためといわれており、鶴田がギャラの一割をクラブに取めるぐらいでは、とてもまかないきれるものではなかったといわれている、また一説には鶴田はギャラの半分近くをこのクラブの運営につぎ込んでいたという見方もあり、この説に従えばクラブの経理がズサン過ぎて借金もかさみ、すでに一千万円をこえている

こうした金銭的な問題の他に内部の主導権をめぐっての勢力争いも加わって、解散への拍車をかけたともいわれている、つまりかねて彼の友人であった伊東祐弘氏が今年になって新たにクラブのプロデューサー格として入会したが、こういう鶴田と伊東氏の結びつきを喜ばなかったのが、竹中、桜沢両氏を中心とする旧クラブ員の連中でこの冷い戦争が経済的な打撃を前にして、モロくも解散へという動きになったのだともいうが、その伊東氏とも最近は関係ないと鶴田が明言しているようだ

鶴田浩二

鶴田も寄りつかぬ

また鶴田自身も最近は相当金回りも悪いようで、愛用していた自家用車オペル・カピタンも手離し、京都での撮影の都合もあったことだが昨今はクラブの事務所にも殆ど顔を見せていない、こうしてこのグループはすでに命脈もつきた形で、内部にはすでに他への就職運動をする者も出ており、解散は時間の問題だとみられている、これについて事務所では目下責任者が留守で判らないの一点張りだが同じ俳優グループである「にんじんくらぶ」にこれについての意見をきいてみると「われわれがやっているグループ連盟に入会していないのですが、もし解散するという噂が本当でしたら反対です、何とか続けさせるようにわれわれも極力応援したいと思っています」とグループの相互援助を主張していた

映画やぶにらみ

ホノボノと心温る

子供の世界を描いた二つの作品

子供の世界を描いてホノボノと心温まる作品が二つ、一つは両親にうとまれてひがみきった中流家庭のワンパク小僧、一つは小児マヒにおかされて身体の自由をうばわれてしまった不幸な少年少女たちが主人公で、共に製作者たちのヒューマンな善意と愛情がにじみ出ているのは喜ばしい限りだ

「女中ッ子」=(日活)

▽…東北の片田舎からポッとでて来た女中(左幸子)がとある中流家庭(佐野周二、轟夕起子)に住み込む、健康で勤勉な彼女の底抜けの善意は、都会の「文化的」な生活の中ではとかく笑いもののタネにされてしまう、彼女に心からなついたのは両親からも温くあつかわれていないワンパク息子(伊庭輝夫)たゞ一人である、田坂具隆監督は二人の清らかな愛情の交流をとおして、お上品な都会生活者の中に欠けている「もの」を抉り出してみせる、左幸子の女中が非常に好演なので、この狙いだけはかなり成功しているといえる

▽…しかしながら総体的にながめるとこの作品は決して成功作とはいえず、二時間二十分の長さは些か間のびというほかない、それにこの女中が盗みの汚名をきて故郷に淋しく帰ってゆく結末は何としても後味が悪い、無理に甘さを望むわけではないが、こういうラストに持込むための布石が十分消化されていなかったからであろう

「しいのみ学園」=(新東宝)

▽…二人の愛児を小児マヒにおかされたところから、世の身体不自由児のために学園を建設した大学教授の手記をもとに、清水宏が脚色・演出したもの、前半は大学教授夫妻(宇野重吉、花井蘭子)が愛児を次々と病魔に犯される苦悩を主に、後半は学園における子供たちの生態が幾つかのエピソードとして綴られている

▽…子供の世界を描いては定評のある清水監督だけに特に後半の物語りは美しい、手紙の返事を待って門によりかゝっている少年(毛利充宏)の姿など、思わず涙が溢れ出して来るほどの清らかな感動をさそう、足も曲り手もきかぬこれら不幸な子供達が、これほどまでに激しい生命力に溢れていることを知って、何か心の片隅が明るくなったような気がする、香川京子らが共演(静)

㊤「しいのみ学園」の一場面
㊦「女中ッ子」の左幸子と伊庭輝夫

○ストリッパー楽団?○

夏場の不振を一気に払い飛ばそうとストリップの浅草座では、こんどシャンバローをお手本とした楽器チームを編成、二十四日からお目通りさせている、メンバーは滝まさみ(アコーディオン)ムーン冴子(三味線)松島みどり、浜多恵子(ギター)というクワルテット、作曲の津久井祐喜氏から手をとり足をとって教わっただけに、早くも黒田節、三味線ブギなど五曲を舞台で演奏、観客の拍手を受けている

【写真はそのクワルテット】

おしゃべり横丁

夏季闘争

ことしは多忙につき値上げ要求

—地獄の鬼

都々逸

小沢爾太郎選

やっと決まった娘の縁に
部屋に涼しい朝の風
長岡・鈴木六可仙

握った速達もう来る時刻
お膳立てして待つ永さ
赤羽・浜野 浮舟

貴方といつまでこうしていたい
気持へホテルの百合が咲く
中野・高野芸太郎

あの手この手も遊びの手帖
そっと開いた妻の留守
港・三上とんぼ

空気枕に弾んだ夢を
乗せて二人の汽車の旅
日本橋・宮坂しのぶ

はかない逢う瀬が悲しいものか
空にまたゝく星祭り
◇ 選者

はと笛

▽…中央映画「由紀子」(演出今井正)と松竹大船「花嫁はどこにいる」(演出野村芳太郎)の二本にカケ持ち出演している関千恵子、前者では浅草の踊り子、後者では断髪芸者をやるのでどうしても髪を短くせねばならない

▽…そこでそれまでは腰の辺りまでの長い黒髪を誇って来た彼女もとうとう「由紀子」で半分「花嫁」で半分と、人違いするほど短くしてしまった、最後のカットを大船で済ませた彼女、帰るみちみちも後髪に手をやってみては甚だ心細い思いをしたそうだが「その晩夢を見たの、切った髪の毛がねえ、撮影所の門から追っかけて来るのよ、昔から髪は女のイノチだなんていうけど、ホントね」といかにも口惜しそう【写真は関千恵子】

「次郎物語」を新東宝で独占映画化

下村湖人原作の「次郎物語」は新東宝での独占映画化がこのほど決定、今年の秋清水宏監督が自身の脚本で製作する

催し

「蓬春会」発表会 七月二日午後五時、呉服橋の日本相互ホール、新作「麗童版画集・日本橋から三島まで」「一茶」「眼売り」「鷺娘幻想曲」「アリババと四十人の盗賊」など、佐之助、佐吉など

モダン歳々記

勇婦板額続婚

正治二年六月二十九日、鎌倉時代の無双の勇婦板額が敵将浅利与市義遠に迎えられて妻となった。板額は城九郎資国の女で平小太郎資盛の伯母であった。この資盛が建仁元年、幕府の源頼家に叔父長茂を討たれたので兵を起し越後鳥坂の城で迎えて合戦した。板額はこの時に女ながらも束髪に結い、少年の姿をし、甲冑に身を固め強弓をとって陣頭に立ち、大いに寄手を悩ました。衆寡敵せず、板額は藤原清親のために俘虜となり、将軍頼家の前に引かれたが、死を決した彼女は一向に臆する色なく振舞って一同を感心させたが、中でも豪勇をもってきこえた浅利義遠が「是非この女を女房にしたいから、罪を許して戴きたい」と頼家に頼んだ

「容貌醜黒なれども、勇敢にして善く戦う」という程の醜婦だから、物好きもほどほどにせいと頼家も初めは受けつけなかったが、「こういう強い女から強い子を得たい」という浅利の熱心さに、遂には「勇の種に勇婦の畑できぞ日本一の豪勇の士が生れよう」と許したのであった。「姿色なけれど美を膺下にあつめたり」とは義遠の述懐だそうだ。(鮭)

あすの運勢

高島象山

=六月二十九日=

▲一月生—困難を克服して幸福来り多幸なり商人は思惑的利達あり
▲二月生—進んで敗北し易く退いて悩みあり内外共に自重してよし
▲三月生—慢心から失敗を招き離情で失態を生じ易い病気盗難注意
▲四月生—時機止に到来して発展向上の日柄なり積極的に活動よし
▲五月生—物事に急変転落の兆ありて意外の迷惑災害を蒙りやすい
▲六月生—万事油断と慢心を慎み進退に注意せよ家庭的に不和あり
▲七月生—何事も人気あがり信用を増し上位先輩の引立ある日なり
▲八月生—不用意より難を受け不注意より損を招き易い異動変化凶
▲九月生—他人の世話事は一切よくない交際外交上に間違い有易い
▲十月生—好運にして物事順調に至る商人は利益多く官公吏引立有
▲十一月生—物事に誤解を生じ迷惑起り易い情的災い生じ不和あり
▲十二月生—稼業栄達ありて順調なるも積極的に内輪に悩み有易い

世界艶流譚

…(フランス)…

フランス東部ブルゴーニュの或るぶどう畑です。「ねェ、マック。ぼくはどうしてもこれ以上我慢が出来なくなったよ」「あ、あの器量良しのベネとのことだね。何も我慢することはないさ。向うでも君が嫌いじゃないんだから、さっさと結婚すりゃいいじゃないか」「そこなんだよ問題は」「何のことさ、ダニエル」「つまり、世間でよくいうだろう、結婚は恋愛の墓場なりって」「なるほど」「せっかくベネとの仲がうまくいってるのに、うっかり結婚して、自分で自分の墓穴を掘るようなことになると大変だからね」「そうだね」まことにノンビリした会話ですが、恋人のいないマックの方は多少妬けていますし、好奇心もあったので「そんな詰らないことを考えているよりどうだい、今夜にでもベネと事実上の結婚をしちまったら」とそそのかします。それでダニエルも決心して、マックと別れ、その夜初めて、ベネの熱い抱擁を受けました。さて翌朝のことマックが結果如何とダニエルに訊ねますと「何のことはないよ。あんな墓穴ならもっと早く掘ってもよかったよ」

ラジオとテレビ

28日(火)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷ちえのポスト 柳内達生他 25 物語「オテナの塔」	05 英語会談◇今日の市況 30 ポケットラジオの組立 40 つゆと伝染病石野夏樹	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 ドレミファ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 東京マンボ楽団	00 劇「ポツポちゃん」 20 劇「少年探偵団」 35 歌謡百貨店菊池章子他
7	15 録音ニュース 30 話の泉 渡辺紳一郎 堀内敬三 サトウハチロー 徳川夢声ほか	00 名曲鑑賞 ブルツフの提琴協奏曲第1番ほか 30 座談会「アジアの若い農民達」坂井治吉ほか	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 お好み寄席 落語独演会「樟脳玉」三遊亭円生	00 録音ニュース 10 パパラヴスマンボほか 30 お国自慢のど自慢 笠置シヅ子 小野鶴太郎他	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ横山秀夫 30 歌謡クイズ「前奏名曲シリーズ」久保田勝
8	00 青空の仲間「梅雨があがればの巻」榎本健一他 30 民謡を訪ねて 東北・北海道篇 鈴木鶴声ほか	05 きょうの国会から 20 ラジオ家族会議「教育について」森田たま 伊藤昇 石田アヤ 大宅歩	00 渡辺弘とスターダスターズ 歌・キーゾンほか 30 歌の風車 東海林太郎 小鳩くるみ 中村メイコ	00 家庭音楽会 浅倉アナ 三味線豊吉 高山正彦他 30 連続講談「徳川家康」第五十七回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 三木鮎郎 坂東鶴之助ほか 30 劇「ほらふき騎士」森繁久彌 小沢栄ほか
9	05 ニュース解説平沢和重 15 劇「源義経・びるしやなの巻」半四郎ほか 40 一万六十円の反響	00 音楽のおくりもの 喜歌劇「連隊の娘」大谷冽子 三枝喜美子 宮本正 栗本正 立川澄人ほか	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎ほか 40 唄の四季 藤胡茂 飯島ひろ子「浅黄幕」ほか	00 歌うバースデイプレゼント 中村哲 河井坊茶 30 ❶漫談 牧野周一❷落語「柳の馬場」円歌	00 ❶漫才「底抜け監督」一歩・道雄❷歌 照菊 30 劇「黄色い鞄」東野英治郎 永田靖 大塚道子
10	15 スペインの思い出 40 芸術よもやま話 市川猿之助 小絲源太郎	00 ❶初級国語 鳥山榛名 ❷上級解析 山崎三郎 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇「新選組」木村功他 30 交響詩「モルダウ」他	00 大学受験春期基礎講座 和文英訳 JBハリス 30 解析(Ⅱ)戸田清	00 劇「南無三宝」小沢栄他 15 歌 野沢一馬ほか 35 森繁のやりくり社員
11	10 西ドイツの学生 20 将棋の医師武井つたひ	05 盛夏の店舗設計 50 泉熱臨床内田三千太郎	10 空中劇場「街の子」吉原崇 寺島信子ほか	00 探訪「水害日本の悩み」 30 無伴奏チェロ組曲三番	00 スポーツ・カレンダー 15 夢のいざない

テレビ

★NHK★ ◆6・00 日本の童謡「野口雨情作品集」◆6・30 カメラ担いで「人間ラツシュ」池田彌三郎◆7・10 映画❶「子供を健やかに」❷「おかあさん」田中絹代 香川京子 岡田英次ほか◆9・00 ニュース

★NTV★ ◆6・00 陽気な音楽一家「金魚の夢」◆6・20 劇「私のお母さん」近藤圭子ほか◆6・50 カメラ探訪「つくられる女性美」◆7・30 ダブルタイトルマツチ「大塚昌和対小室憲市」「松山照雄対羽後武夫」ほか

★KR★ ◆6・00 映画「いとしき子等のために」◆7・00 花のある家「花三輪」藤波ゆかりほか◆7・30 しろうと寄席 牧野周一◆8・00 時の氏神 鈴木昭生 河村久子ほか◆9・00 TVニュース◇映画予告編

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 白川渥	7・30 欧州文化の源流	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 劇「青春のある所」	8・10 お早ようブーちゃん
8・05 名演奏家の時間	8・00 結核と体重山岡克巳	9・30 愛の小窓 関光夫	9・15 ラジオ小説真珠夫人	8・45 お好み歌謡曲
8・30 小鳥を訪ね中西悟堂	9・00 きょうの学校放送	10・10 名作「戸田家の兄妹」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 劇「サザエさん」
9・15 小学生の導き方	10・30 日本の音室町の将軍	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・00 やりくりチヨ子さん
10・05 けさの話題 鈴木明	11・45 英文研究「幽霊物語」	12・15 ワゴン・マスターズ	12・00 活動から映画へ	10・15 劇「子供の美しい夢」
10・15 商売拝見「そば屋」	12・15 詰碁講座 七段・篠原	1・30 明治女学校の人たち	1・15 漫才「音楽列車」	11・00 連続劇「信子」

浪人街道 (201)

木村荘十
野口昂明画

隠士(五)

啓之助は、修理を討ちもらすと、人数をまとめて、本丸に侵入しようとした。

領主を毒殺して、病死と偽ろうという計画をはばむため、素早く奥医師の杉原玄以をおさえさせたが、それではまだ領主の身辺が心もとなかった。

印旛沼の埋立工事が終って、田沼の没落が近いと知れば、修理は事を急いで、暴挙に出るかも知れなかった。

しかし、身をもって西丸を逃れた修理達もぬけ目はなかった。

殊に江戸では偽名を使って暗躍するほどの奸智にたけた中川宗範が、天守閣に押し込めた領主の脱出を考えない筈はなかった。

啓之助が、領主を救出に向ったときには、既に、四方の門には人数が繰り出されていた。

さすがに、その昔、平将門が出城として築城しただけに、その要害の厳重さ、石垣の高さ、忍び込むことさえ難しい。

近づけば、鉄砲を撃ちかけて来る。まるで、大筆を引受けて、籠城でもするような有様だった。

啓之助は暴雨風にうたれながら無念の涙をのんだ。

不覚だった。

(俺は何故、もっと早く、領主を救出することを考えなかったか。情に溺れて、美代吉一人のことにわずらわされ…領主の救出を忘れて、修理を討とうとした)

自分のしていることは、総て本末を転倒している。

(俺は人の上に立つ人間ではない。することの一切が感情の囚となっている。領主を思うことの薄かったのも、まだ見ぬ父に対して自分の出生、自分の待遇を怨む気持があったからに違いない)

啓之助は、白岡城主に対して、漠然と父を感じたことはあるが、白岡城の統治する多くの百姓町人の幸福を考えたことのないのに気がついた。

兄を暗殺して領土を横領しようとするような修理や宗範に、この領土の人達を支配させたらどんなことになるか、それを思うと肌が寒くなる。

暗然として、豪雨にうたれる天守閣の方を眺めていると、

「奥方が、奥方が」

と叫んで飛んで来たものがある。

「何事だ」

「奥方が御自害をなさろうと致しまして…」

「来い」

啓之助は再び御殿に引返した。

奥方は、腰につき添われて泣き伏している。

懐剣で咽喉を突こうとしたところを腰元にとめられたのである。

「大事の際に、何を早まったことをなさるのです」

「いいえ、たとえ身体は汚さなくても、死の脅迫に心を動かしたもの、白岡城主の奥方として、おめおめ生きては居られませぬ」

「奥方、人間は誰も弱いものなのです。しかし、今は御領主が大事な場合、何事も忍んで、御領主の奪還に御力添を願います。修理殿は本丸、天守閣を兵をもって固めました。御領主の生命は……白岡城の運命は、修理どのの手中に陥ちました」

「ああ、こんな時に高森殿が居て下すったら」

奥方は微かに溜息をつくように云った。

微苦笑パトロール日誌

湿度が高く気温が上るツユどきは"松沢行き"の患者が急ピッチで増えるシーズン、そこで、自制力の乏しい犯罪者もついふらふらと悪の道に足をふみ込みやすいとあって警視庁のお役人はその対策に汗だく、とりわけ治安の第一線に立って徹夜で都内を走り回るパトロール・カーは悲喜こもごもの都民の訴えに、あるときは身を挺して闘い、あるときは粋な大岡裁きをみせるなど、車と共に目の回る忙しさである—というわけで最近の"パトロール日誌"から微苦笑のこぼれ話を二つ三つ拾ってみた

あわや"日米開戦"寸前

一一〇番のお蔭、あっさり幕

◇六月二十一日(火)午後八時ごろ、一一〇番のベルがけたゝましく鳴る、「いま米人と日本人数名が丸太棒で乱闘しています」直ちにMPと連絡、日・米合同のパトロール・カーが現場の新宿区市ヶ谷加賀町二の三先に駈けつける幸いまだ殴り合いは始っていなかったが空気は険悪、事情を聞くと日本人は同町二の三三表具師山田昭男さん(四三)ら三名で同士でいっぱいやりタクシーの途中、現場近くでタク輪が溝に落ちた、仕方が後押しを手伝い車を引ったところまではよかったすっかり泥だらけ、そこの米人ハレム・ギルモア

においで忽ちご用

汲取口から侵入した少年ドロ

◇六月二十二日(水)午前三時ごろ、三十一号パトロール・カーが寝静まった渋谷区千駄ヶ谷二の四三〇先を巡回中、突然ヘッド・ライトの中に「泥棒です」と飛込んできた女があった、同番地酒屋楠田勝子さん(五八)の案内で調べてみると、賊は便所の汲取口から侵入、売上金五千九百円を奪って逃走したもの、時間からいってもまだ遠くには逃げられまいと直ちに付近を捜索したところ、間もなく同区原宿二の三二四先をアンダー・シャツにステテコ姿で歩いている男を発見、車を停めて職質すると埼玉県熊谷市少年B(一七)で「強盗に会って着物をとられました」との答、ところがこの少年のあたりから何ともいえぬ"香水"のにおいが立ちこめ"くさい奴"とばかりその場でご用となった

恋仇と早合点

小心者の青年大失敗

◇六月二十四日(金)午前二時半ごろ、新宿区角筈一丁目先でもめている男女三人を発見、調べたところ一人は同区柏木日大三年生K(二四)で、恋人の板橋区板橋一丁目S子さん(三〇)が現場近くの料亭に勤めているので、いつも帰りごろ待合せ自宅まで送ってやるのが二人の楽しみになっていた、この夜もKは料亭の近くで待っていたが、ちょっとタバコを買うため待合せ場所をはなれ、もどって見ると恋人は他の男と連れだって歩いて行くではないか、思わずカッとなって持っていたカバンでいきなり男を殴りつけた、ところが話を聞いて見ると男はなんと料亭の主人で、S子さんに友人が迎えにき

のパトロール・カーが暗がりに停っている一台の乗用車を発見、不審に思って中をのぞこうとする物音に驚いたか客席から半裸の女が逃げ出した、取押えてみると男は米軍F伍長(三〇)女は墨田区原町三夜の女吉田正子(三二)=仮名=で、吉田は同夜有楽町でF伍長をくわえ込み、かねて契約していた某タクシー運転手の車に乗り現場にきて売春していたもの、リベートを貰った運ちゃんは忠義ぶりを見せて五十米ばかりはなれたところで見張をつとめていたまではよかったが、反対側から忍び寄った警官に気づかず、この運ちゃんも場所提供(?)でご用となった

スイな運ちゃん

場所提供でご用

◇六月二十五日(土)午前一時ごろ千代田区竹平町三番地巡回中

丸山調整課長取調べ

独禁法汚職 公取委に波及

独禁法改正をめぐる贈収賄事件を追及中の警視庁捜査二課では二十八日朝公正取引委員会事務局経済部調整課長丸山泰男(三八)=武蔵野市吉祥寺五〇三=を収賄容疑で任意出頭を求めて取調べるとともに自宅及び公取委事務局=中央区日本橋室町二=の家宅捜索を行った

なお、夕刻までに逮捕令状が執行される模様

調べでは丸山は二十八年八月ごろ独禁法改正法案の審議に際し化粧品業界から数万円を貰い、化粧品の価格協定を認める条項を立案、この法案の通過に努力した疑い

公会堂建設で汚職?

新東建設資材部長のサギ暴露

品川署では二十七日夜品川区南品川六の一四三八新東建設=社長木下福之助氏(四六)=の資材部長篠崎澄雄(三九)を詐欺の疑いで検挙した

笠山で墜落した日本青年飛行連盟

機の捜索は、地元の賀茂郡城東村消防団員ならびに田方郡中大見、上大見両消防団員らと下田、大仁両警察署員百数十名が二十八日早朝から引続き捜索を行っている、一方自衛隊館山基地からヘリコプター二機も出動、捜索に加わっているが、午前十時現在まだ発見されていない、なお重傷を負って現場に残っているカメラマン中野幸介氏の安否が気づかわれている

美人揃いの 神田 パリス

貰れっ子・トンガリ帽子

○…"ソフトクリーム"は夏の寵児である、甘く冷いとろりとした味が、カリ〳〵とした子と共に溶け込む舌ざわりはなんともいえない…ポッと出のおじさんもソフトクリームを指してさんぐる〳〵とネジって

…の乳の中毒事件でしょげかえっていた乳製品業界はソフトクリーム様々と拝み、今夏は昨年百万コート(一コートは十三個)を三割も上回る二千万コートを突破するのではないかと意気込んでいる

○…さてアイスクリームの誕生だが、アメリカで初めて売り出されたのが一八五一年、今年で百四年になり、わが国でも昭和二十六年アイスクリーム百年祭が盛大に行われた、その昔…が「氷菓子」を食べるとポンポが痛くなるよ…と注意されたことを思うと夢のよう、氷菓子といえば昭和二三年頃まで飛ぶ鳥を落すだったアイスキャンデーは…、都会ではサッパリ人気がなく、くる〳〵ネジッた尖のソフトクリームがいまや…の夏と大手をふっている

真夏のプロローグ ❶

練馬でダニ狩り

森の石松ら十二名

無銭飲食 断れば煙草の火で報復

…石戸栄(一九)ら十二名を恐喝、傷害、暴力行為等取締りに関する法律違反容疑で検挙した、調べによると

▽八木は練馬、江古田方面のチンピラの親分で、常に子分をつれ映画、ビリヤードなどの無料入場や無銭飲食の常習者で、断わられると煙草の火を相手の頬に押しつけ火傷させるなど十数件の恐喝傷害を働いていた

▽高橋は十人組の"練馬暴力グループ"の頭領で、さる三月十五日夜葛飾区本田原町八八タクシー運転手野沢武さんが練馬駅から客を乗せ発車しようとする際いんねんをつけ窓ガラスをこわし、また勝手に助手台に乗込み料金の二割を客から助手代と称してとるなど恐喝数十件を働いていた

▽笠川、菅原、金子の三人は五月三十日練馬駅前で板橋区徳丸本町二六小池鉄治さんを脅して現金三千円を奪った

▽石戸は仲間の土工高野浩明(二〇)と組んで「オレは練馬の森の石松だ」とすごみをきかせ、石神井、練馬一帯を軒並みに百円、二百円をたかって歩き、自供しただけでも二十数件約一万円を喝取していたもの

バットで重傷おわす

バタ屋、ネグラの場所取りで喧嘩

二十七日午後十一時三十分ごろ千代田区丸ノ内一の一大和生命玄関前で、住所不定バタ屋須永義一(三三)は寝る場所のことから同僚のバタ屋野間恒二郎さん(三四)と喧嘩となり、須永はバットで野間さんの顔面、後頭部などを殴りひん死の重傷を負わせ、駈けつけた丸ノ内署員に傷害の現行で逮捕された、野間さんは近くの民生病院に収容されたが生命危篤

騒がれて逃走

西大久保に自動車強盗

二十八日午前零時ごろ中野区本郷通り二の二八東京観光タクシー清田政雄運転手(五〇)は国電新宿駅東口から乗せた二十二、三歳ぐらい五尺一、二寸、色シャツ職人風の男に新宿区西大久保一の四一四先暗がりで、いきなり首を絞められたが騒いだので賊は料金百十円を踏倒しただけで逃げたと淀橋署に届出た、同署で捜査中

神田駅前 NOチップ社交場 サロン松

菊地の死刑確定

上告棄却

菊地正

一家四人殺しの死刑囚菊地正(三八)=栃木県芳賀郡市羽村字赤羽二七八五=にかかる強盗強姦殺人事件の上告審は最高裁第三小法廷で島裁判長係で審理中のところ、二十八日午前十時半「上告棄却」の判決いいわたしがあり死刑が確定

先月十一日東京拘置所を脱出、世間を騒がせた宇都宮雑貨商女主人

砲声下に"平和祭"

吉田渉外部 調整無視に抗議

【富士吉田発】二十七日夕刻から始まった米軍の北富士演習場(大田和林道砲座百五十五ミリ曲射砲一九門)からの第七次実弾射撃は夜を徹して行われ、二十八日午前十時現在断続して砲声が轟いている

小泉吉田渉外事務所長は同日午前十一時、キャンプ・マクネアでエングル・ブライト中佐と会見、米軍の調整無視に抗議した

"山の平和祭"は予定通りきょう午後六時から河口湖畔の湖南中学で地元県労連に県外労組員も加わって行われ、基地反対と富士を護る国民運動展開のため夜を徹して多彩な行事が繰りひろげられるが山梨県警本部は二十八日は一個中隊百五十名、二十九日の"砲座見学"には三個中隊四百五十名を動員して警備にあたる

富士自動車争議解決

【横浜発】三千七百余名の人員整理をめぐる富士自動車争議は二十六日県地労委が提示した調停案につき二十七日午後十一時四十五分労使双方が付帯条件付きで受諾し、四十一日ぶりに解決した、会社側の付帯条件は退職手当の支払期日を一部分割払いにすること、組合側は

一、労使双方で失業対策委員会を設ける

一、解雇の基準ならびに解雇者の決定は労使双方で協議する

などだが、付帯条件の細目は団交で解決されることになった

国労、機労も解決へ

夏季手当を要求中の国鉄労組、機関車労組と当局との交渉は二十七日夕刻から二十八日朝にかけて数回にわたる徹夜の話合い、団交を行った結果、午前九時夏季手当は〇・八ヵ月分、新賃金ベース実施までの暫定措置として四、五、六月分毎月二百八十円の線で一応国労と了解点に達し機労との交渉に入った

『つがる』帰る

貴重な資料を土産に

今世紀最長の皆既日食観測に成功した海上保安庁巡視船"つがる"=一千トン船長田中嘉平治氏(五三)=は、二十八日午前九時半東京港日の出桟橋に帰港した、セイロンの観測は天候に災いされて失敗したため南ヴェトナム、ハイニュイ海岸で"世紀の瞬間"をとらえた観測は今後太陽の神秘を解く貴重な資料となった

同日朝東京湾は小雨、船腹一杯、地のブイに着いたのは午前七時半、日食観測班山崎嘉美班長以下観測データをつめこんだ"つがる"は船足をぐんぐん早め検疫泊十一名、東大、京大、中大、熊本大、大阪学芸大などの助教授、乗組員、報道陣など合せて八十四名は強烈な南の陽ざしに灼けて真っ黒、大任果して嬉しそうにほころびる口許から白い歯が目立った

"つがる"はさる十一日東京港を出発途中、海中放射能の測定や荒天気の波状と船体動揺測定などを行いながら十八日キキュイク湾に碇泊、翌日ヴェトナムの現地軍の好意で上陸を許されハイニュイ海岸の砂浜で二十日日食観測を行った、同夜ツーラン港に入港、三十五名の生残り元日本兵を乗せて帰国する予定だったが、ほとんどが現地妻を持っているという事情のため果せなかった

上家族に迎えられて日の出桟橋に着いた"つがる" 下同甲板に並べられた土産のヤシの実

新宿駅前柳通 グリルさんぺい

山崎嘉美観測班長談

天候がよかったので計画していたことが全部できた、成果は十分あげられたと思う、船員、観測班員の苦労がむくいられたわけだ、今度の観測の第一目的は天体位置の誤差を調べることだったが、結果は一年ぐらい先にならないと整理がつかないだろう、セイロンでの観測失敗はあとになって聞いたが残念なことをした

坂上努九大助教授談 わたしのテーマは日食時の気象の変化、つまり昔から日食があると天気が悪くなるといわれるがなぜか—を探るのが目的だった、さいわい天気がよかったのできれいなデータがそろった

奄美大島でサンゴ新礁発見

【高松発】香川県から奄美大島へサンゴ漁に出漁中の第六寿丸(二三ト)=船主香川県木田郡庵治村西村鶴一氏=から二十七日県水産課への連絡によると、同島付近で豊富なサンゴ新礁を発見した、同船はさる五月から鹿児島県奄美大島を基地に操業中のもので、総水揚量はすでに二百五十一万円に上っている、新発見の曽根(漁場)は桃色の上質生木ばかりで二本で一貫五百匁(時価三十万円)の大物のほか大小取りまぜ二十貫(八十万円)を一操業で水揚げし、なお操業をつづけ七月一日から鹿児島市で開かれるセリで入札するといっているので県では大きな期待をかけている

初夏の夜は うぶな乙女の 星座は愉し ノーチップ制 クラブ星座 神田駅西口前(西側)

騒音防止旬間

7月1日から10日間

墜落機の捜索続く

（第三種郵便物認可）　（新聞定価一部四頁５円・八頁10円・一ヵ月200円）　内外タイムス　昭和30年6月29日（28日発行）（水曜日）（第3141号）（4）

続 情炎の千代田城（161）

岩崎栄
寺本忠雄画

闘争（一）

お静と千代太郎が泊っていてくれる――安心感で、絵島はこのごろにないのびのびとした眠りをむさぼった。

すまじきものは宮仕え――江戸城大奥を切って回す絵島ほどの権威でも、心身に一寸の隙も持たないような宮仕えは、決して安楽なものではなかった。久しぶりの公休を、こうして町屋敷に起居するということは、緊張した筋肉が、氷の解けるようなメキメキと音をたてゝゆるみほどける気持の解放だった。

清澄な朝をモズの啼き声が聞こえる。庭の銀杏のテッペンにでもとまっているのだろう。

時刻はもう五ツか五ツ半ころらしい。お城の日常では出仕の刻限である。花のように着飾り、化粧して政治と闘争の舞台に出馬する時刻である。今日だけはその疼くような快感と緊張を忘れて暮らすのだ。暮れ六ツまでに帰城すればよい。それまでの時を、どう暮らしたものであろう――町家の女らしく身装りを変えて、ずいぶん遠ざかっている浅草にでも行ってみようか――それとも芝居。

芝居と思いつくと、さすがに女らしい興奮に胸がときめいてくる木挽町……娘のころがつい昨日だったかのように、ありありと美しい山村座の色彩、匂いが甦って来た。

当節では、何という役者が名だいなのか――どういう役者が人気を背負っているのか。とんと田舎ものゝように時世がわからぬ。宮仕え久しいヤボな椎茸たぼに成り切ったものではある。

苦笑の気持で寝返り打って、ホッとアクビをした。その気はいをさとって、襖の外から、次の次の間にいた美登利が敏感に

「お眼醒めにござりますか」

「あい。雨戸を繰ってたもれ」

「こゝろえました」

床をはなれ、手水に行ってくると、美登利が、

「お湯が出来て居ります」

風呂だ。それから朝食。すべては、つれて来た部屋子の美登利が給仕である。

「まァおいしいこと。町へ下りてくると、こうした珍らしいものがいたゞける」

クサヤの乾物なのだ。

「お静どのはえ？」

「もう、とっくにお帰りでござりました」

「あれ、そうか。ろくにお礼も申さず失礼であった」

「夕刻御帰城のせつには、またよそながらお見送り申しますと、さように」

「男の方はえ？　千代太郎という御人、まだ会うたことはないけれど」

「そのお方は夕刻まで、こゝに居てくだされるそうにござります」

（どんな青年であろう。町人すがたで、ひどく伝法で、それでいて役者のようにきれいな若者と聞いたが……）

朝食のあとを、居間で茶をのんでいるうちに、絵島はまた横になりたい気持がして来た。肩も腰も抜けるような倦怠におそわれて、もう欲も得もいらぬ。浅草も木挽町もどうでもよい。この半日を按摩でも呼んで寝て暮らしましょ、と。

「どうだね、よく眠れたかの」

兄の平右衛門が入って来た。このヤクザな兄は、妹の一生涯の方向を更えさせた上に、その妹のおかげで生活している。

「お世話さまでした。おかげでーホヽヽ」

「それは何より。ところで今日は？　どういう寸法だね」

「それが、とんとヤボな寸法。ホヽ、兄上、よく利く巧者な按摩を探していたゞきます」

「へえ！　按摩ねえ。いや、それもよかろう」